

環境や身体への配慮をしながら  
味にもこだわるのがモットー



▲会社名に入っている「むすひ」は、「結び」や「産靈(むすひ)」という言葉が由来。「ご縁や心をつなぐ」「万物を生み育てる神秘的な力」という意味があります。神秘的な力で多くの方と結ばれる、農業の力強さを日々実感する毎日です。

## 加工部門 お米農家のだいどころ ムスピ

加工部門として、米粉を使った加工品をJA直売所に出荷するほか、地域のイベントに参加したり、1DAYカフェや料理教室などを開いています。



## 地域の皆で地域の農業を 守り高めたい

今後は、農地の集積を進め、水稻栽培で更に収益が上がるよう、品質を高めたいと考えています。また地域では、高齢化や機械の故障などで離農される方が増えているという現実にも直面しています。個人的には、「規模は大きくなくても、何とかがんばりましょうよ」というのが本音です。地域の農業を絶やすいために自分にできることを考えるとともに、何か困りごとがあつたら頼つてもらえる存在になれるよう、これからもがんばります。

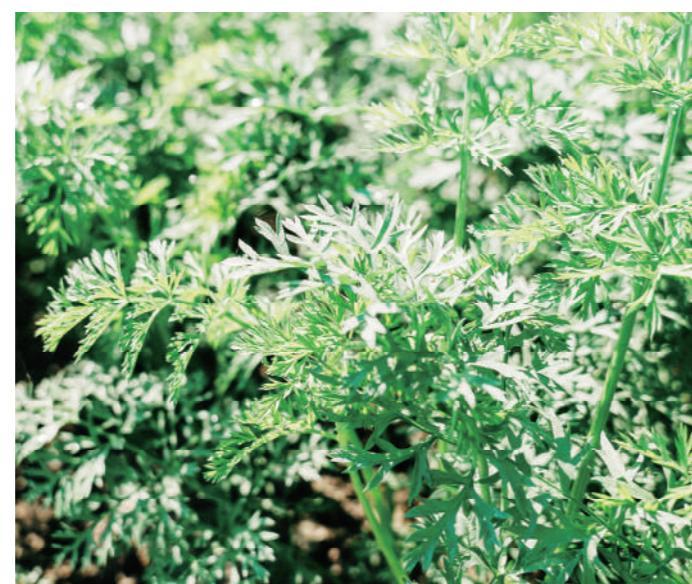


▲すべてのニンジンと水稻の8割は「環境こだわり農産物」認証を取得。米粉用品種「垂細垂のかおり」の試験栽培にも積極的に参画しています。

## 大きな決断に後悔は無し

今年の6月に、父から引き継ぎ、(株)むすひグリーンファームの代表取締役となりました。6年ほど前、父から「お前が農業をしないのならこれ以上の農地拡大はしない。農業をするのならもつと拡大する。どうする?」と問われ、3年ほど悩んだ末に農業の道へ進むことを決断しました。自分が後継しなければ、これまで父が受託し大切に管理してきた農地はどうなるのか、地域の農業はどうなってしまうのか、色んなことを考えました。代表取締役として日々農業に取り組む中で、何かと忙しい毎日が続きますが、当時の自分の選択は間違えていなかつたと実感しています。

## ニンジンの栽培にこだわり



▲太陽の光をいっぱいに浴びて育つニンジンの葉。JA直売所には10月末から3月初旬ごろまで出荷予定です。ぜひお買い求めください。

年間を通しての作業体系を確立しようと、私が就農してからニンジンの栽培を始めました。現在は一般的な「夏まき」のほかに時期をずらした「春まき」にも取り組み、彦根市内の学校給食などで幅広く使っています。こだわりは、安全かつおいしいニンジンであること。「多賀にんじんクラブ」にも所属し、圃場が彦根市なので「多賀にんじん」として出荷することはできませんが、研修会などに参加することで栽培技術の研鑽に励んでいます。「おいしい」と自分のニンジンを食べて言ってもらえることが、何よりうれしいです。



▲5haほどの面積から農業を始め、地盤を築いてきた父の名前を汚さないためにも、しっかりと農業に取り組みたいと話します。

今後は、農地の集積を進め、水稻栽培で更に収益が上がるよう、品質を高めたいと考えています。また地域では、高齢化や機械の故障などで離農される方が増えているという現実にも直面しています。個人的には、「規模は大きくなくても、何とかがんばりましょうよ」というのが本音です。地域の農業を絶やすいために自分にできることを考えるとともに、何か困りごとがあつたら頼つてもらえる存在になれるよう、これからもがんばります。

## 大きな決断に後悔は無し

今年の6月に、父から引き継ぎ、(株)むすひグリーンファームの代表取締役となりました。6年ほど前、父から「お前が農業をしないのならこれ以上の農地拡大はしない。農業をするのならもつと拡大する。どうする?」と問われ、3年ほど悩んだ末に農業の道へ進むことを決断しました。自分が後継しなければ、これまで父が受託し大切に管理してきた農地はどうなるのか、地域の農業はどうなってしまうのか、色んなことを考えました。代表取締役として日々農業に取り組む中で、何かと忙しい毎日が続きますが、当時の自分の選択は間違えていなかつたと実感しています。

年間を通しての作業体系を確立しようと、私が就農してからニンジンの栽培を始めました。現在は一般的な「夏まき」のほかに時期をずらした「春まき」にも取り組み、彦根市内の学校給食などで幅広く使っています。こだわりは、安全かつおいしいニンジンであること。「多賀にんじんクラブ」にも所属し、圃場が彦根市なので「多賀にんじん」として出荷することはできませんが、研修会などに参加することで栽培技術の研鑽に励んでいます。「おいしい」と自分のニンジンを食べて言ってもらえることが、何よりうれしいです。



▲すべてのニンジンと水稻の8割は「環境こだわり農産物」認証を取得。米粉用品種「垂細垂のかおり」の試験栽培にも積極的に参画しています。